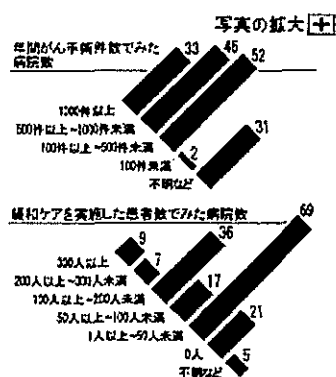


研修時間が作れない、苦悩の地方病院...がん拠点病院全国調査

医師不足、一般診療休めず

地域のがん医療をリードする「がん診療連携拠点病院」の実力に、地域格差があることが読売新聞社の全国調査でわかった。「全国どこでも、質の高いがん医療の提供を」というがん対策基本法の理念の実現には、課題が山積している。(科学部 藤田勝、医療情報部 田村良彦、中島久美子)



放射線治療マンパワー比較

	日本	米国
放射線治療医	500	5,000
品質管理専任者	実質20名以下	5,000
治療施設	700	2,400
治療装置	900	3,300
年間新患者数	170,000	600,000

医学部で、放射線治療と放射線診断の分離・独立
病院に、装置の品質管理専門家が必要